



フロントグリルのスポークやカメラカバーを始め、ボンネットダクト、ドアミラー台座、ウインドウモール、そして、ドアハンドルなど、メッキやクローム加工が施されている箇所もブラックアウト。樹脂パーツはシボ取りを施してからペイント

ブラックアウト化でより隆々に

見たせるフロントハーフスポイラーは3ピース。先端は元々、シルバーの処理となっている。一体感が高まり、さらに力強さが増す



マフラーエンドからキッチリと排気ガスを排出させるため、純正マフラーを切断し下側へ曲げ加工を施している。またテールレンズ上部のメッキモールもブラックにペイント。リアスポイラーはボディ形状に合わせた流麗なデザインが特長

このボディキットのメインといえるオーバーフェンダーは片側約30mmの張り出し。サイドスカートが絶妙なバランスで前後デザインを受け流す。ホイールはX6用を流用したユニークフォージド23インチ。グロスブラックがド迫力!



Hot & Cool!
That's the custom
最新メルセデスカスタム

HAMANN [ハーマン]

ド迫力の23インチ+オボフェンボディ
ワルっぽさ全開のハーマンチューニング
HAMANN AMG GLE 63S COUPE

走りのイメージを強調した大胆なフォルムで、人気を誇るハーマンモータースポーツ。九州のプロショップ・ECスペックがGLEワイドボディキットをベースにセンス光るワザを注ぎ込んだ。

問 ハーマンモータースポーツジャパン ☎06-6835-2555 www.hamann.co.jp
取材協力: ECスペック ☎092-406-1414 www.ec-spec.jp
PHOTO: 西野キヨシ



**ECスペックのワザが光る
最旬GLEカスタマイズ**

'16年のジュネーブモーターショーにて、ハーマンが初披露したGLE 63ワイドボディ。BMW X6、X4、そしてボルシェ・マカンとSUV攻勢を仕掛けた同ブリスの中でもGLEワイドはひとときわ高い存在感をアピールしていた。

そして、このスタイリングにいち早く着目したのが九州の老舗ショップ、ECスペックだ。メルセデス・ベンツ、BMW、アウディからスポーツポーカーまで、インポートブランドを幅広く手掛ける同社では、GLE 63Sクーペという恰好のベース車にマッチするスタイルを探していたところ、このワイドボディキットに出会ったという。

「派手な造形だけど、ベースデザインの良さをスポイルしていない。ワイドボディながらもハーフタイプのエアロだからサラッとシャープなイメージ」というスタイリングにほれ込み、フロント、サイド、リア、オーバーフェンダーとカーボンボンネット以外、フルで装着。とはいえ、もちろん単にキットパーツを装着しているだけではない。

「カスタムっぽさを入れるためにブラックアウトを随所に採用しています。例えばフロントのカメラカバーやグリルフィン、ボンネットダクト。さらにドアミラー付け根やモールなど、ボディカラーと同色だとノックベリ感が出てしまうので、ツヤのあるグロスブラックで塗り分け。マットにしなかったのは新しいクルマにはレーシーすぎて似合わないと思ったから」とはスタッフの井口サン。

さらにこのクルマのポイントはホイール。井口サンいわく「このホイールをGLEに履かせたかった」というX6用ユニークフォージドを120から112へとPCD変換。オフセットも変更し、カラーもアナダイズドからグロスブラックに色換えして装着するという徹底したこだわりようだ。

スポーティかつ大胆なデザインのハーマンボディキットをベースとして、ECスペックのノウハウが詰まったGLE 63Sクーペ。ボン付けでなく、細かなワザの積み重ねが最旬スタイルを作り上げているのだ。